

きよひの語 あしたの語



社団
法人 日本作詩家協会年刊詩謡集

1994年版

TETSU

きよしの語　あいだの語

社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集

1994年版

今年も出会えてありがとう

会長 石本 美由起

最近、唄声は巷に氾濫しても

演歌のヒット曲が聴かれない。

なにが、作品のブレークになっているのだろうか……

気がかりでならない。

歌謡界の作品に対する、ジャンル別制作が多様化され、
演歌に集中した時代が、過去になってしまった

結果かも知れない。

だが、われわれは、自分達が咲かせて来た花を

これからも咲かせる努力を重ねなくてはならない。

梅には梅、櫻には櫻、菊には菊の
魅力があり、美しさがある。

私たちが書き続けて來た日本の演歌にも
同じことが言える。

今年も皆さん的作品に出会えたことを

私は、大変嬉しく想う。

平成六年十二月

目 次

〈氏名 五十音順〉

序	文	石本 美由起	一
今夜だけは	あ	いたかし	一六
陽	炎	青木 創	一九
岬	町	木三郎	二〇
今 日 本 は 良 す ぎ て 悪 い	秋	ひろし	二二
夢	陽 炎	秋 秋	二三
愛 の 記 憶	秋 篠	篠さと	三三
おんな一輪	夢 街 道	田 泰 治	三三
再 会	橋	葉 千寿子	三四
人 生 の 花 を 咲 か そ う よ	麻	千 寿 子	三四
恋 阿 修 羅	浅 見	竹 穂	三五
恋	飛 鳥 井	久 美 子	三五
北 の 雪 船	綾 瀬	モ	三七
傷	芳 朗	元	三八
夢	利 夫	元	三九
悲	公 正	元	三九
上	川	元	三九
内 緒 に し て ね	鮎	元	三九
天 满 の ぼ ん	京	元	三九
醉	荒 川	元	三九
恋	木 利 夫	元	三九
饭	良 治	元	三九
田	悠 介	元	三九
路	し のぶ	元	三九
西	三	元	三九

花	あざみ			飯田敏雄	三
霧の錦帯橋				飯塚義美	三六
愛されどひとり				生田恵子	三毛
旅の途中で				池田充男	元
鏡の中の私				池田一代	元
命尊し			生駒かつゆき	四〇	四
マンガバンザイ			石井鐘三郎	四三	四
冬の蝶			石川泰久	四三	四
浅草芝居			石原淳	四	四
人生回想歌			石本淳	四	四
瀬戸の恋人			伊藤一生	四	四
紅葉			伊藤公一	四	四
乗換駅			伊藤悟	四	四
花いちもんめ			伊登久子	四	四
哀愁北海盆唄			糸山たけし	五	五
喝			井上裕允	五二	五
質屋			伊野上和也	五三	五
鎌倉ろまん			岩崎吉太郎	五五	五
幻想			岩瀬ひろし	五六	五
ああ五十年			井村幸男	五六	五
小諸哀唱			吉太郎	五六	五
銀の橋			岩崎	五六	五
夏祭おてんば神輿			岩瀬	五六	五
それでも私は			京子	五六	五

どんまい直ちゃん	上野	たけし	杏
流 転	宇佐美	華	六二
人生列車は二人掛け	碓氷	夕焼	三
禁 断 恋	内山	和樹	三
私のシルクロード	宇都宮	美代	杏
映画つていいですね	宇山	清太郎	奎
愛 の 噴 水	浦田	常治	大
命みだれて	えい	たかこ	杏
母ちゃんのためだよ	海老澤	孝一	大
小さくなつたね おかあさん	大石	さち子	充
比 較 の 雨	大倉	芳郎	吉
日暮れにて	大崎	二三子	七
酒処「お千代」	大嶋	なほみ	七
遠 い 夏	大谷	ひろみつ	圭
湯 西 川	富雄	吉	七
花 見 酒	前裕子	七	七
異 国 の 風	大森 富士子	七	七
拝啓 山田洋次先生	大屋詩起	七	七
夢追いしぐれ	大森	七	七
鬼 灯	おかべ	しづこ	九
うすらい（薄氷）の恋	小川	比富美	八
恋 ご ろ も	おきの	舟 人	八
わたしの思い出さん	おさべ	あさ	三
桑の実は何故紅い	おだ	みさを	八
なみだに乾杯	小野	都久	八

あ・うん・恋舞台	小野	津加佐	会
落ちこぼれてもダイジョウブ	おもて	やちよ	八六
街道鴉	小山	良	八七
旅立ち	甲斐	新	八八
片羽雛	柿沼	宏	八九
夢見小路	かづ	翼	九〇
想い花	かつま	よしえ	九一
旅に恋した女がひとり	かとうえつろう	九二	
越前竹人形	加藤市平	九三	
おれの女神	加藤テル	九四	
じょんがらひとり旅	川端光志	九五	
夫婦花	河原忠一	九六	
父娘人生なにわ節	川村一希	九七	
旅の人	北尾はじめ	九八	
途中下車の女	木立雄幸	一〇	
おつかれさん	彩	一〇	
恋海峠本線	木下龍太郎	一一	
恋闘	木村壮吉	一二	
恋滑走路	木村賢司	一二	
雪まろげ	井田だいし	一二	
鬼の住む山	國枝吉四	一二	
酒	國島雅志	一二	
男の生き方	川良一	一二	
真夜中の未練	小出アキ	一二	
	黒川一九	一九	

乱 蘭	れ 酒	合	格	—〇
ありがとう裏日本		こうの	あゆこ	一一
どんたく雨宿り		河野	充伸	一三
旅人のこころに 島原		小金井	一正	一四
桜 月 夜		古賀	一弘	一三
演 歌 道連れ		こさか	優	一五
追惜の鐘		越野	みのる	一六
再 恋 歌		小島	高志	一七
半分ちょうどいい		小島	哲	一六
野菊が風に揺れている		こだま	まさこ	一九
一枚のハガキから		後藤	紀代子	一〇
俺の女房にや出来過ぎた		寺	孝吉	一三
古 都 の 雪		木 庭	武	一三
女 の 桟 橋		こばやし	克至	一三
渡月橋ひとり		小 宮	正人	一五
渴いた太陽		小 林	たけし	一四
ほかさんとつて		証致子	一六	
おかげ徳利		近 藤	英子	二七
小 島	さいとう 大 三	しげる	一六	
ふるさと半島	大 三	さくまのりよし	一西	
能登のとと楽	一〇	斎藤たくいち	一〇	
哀愁通り雨	一三	斎藤 葉月	一三	
洒落た関係	一三	酒井 愛子	一三	
冬 の れ ん	一西	嵯 川 温子	一三	

口笛の丘	桜本繁	一三五
ひとり暮らし	佐々木安伸	一三六
俺は農夫で勝負する	佐田英介	一三七
一自嘲——だめな男の数え唄	佐藤進	一三八
愛の実が熟れる	佐東たどる	一三九
笛舟哀歌	佐藤としかず	一四〇
出愛めぐり恋恋迷い子	さとうひでを	一四一
おんな信長	さとの深花	一四二
男華	里村龍一	一四三
つれてつて	佐野昌一	一四四
忍ぶ愛	椎名英威子	一四五
安曇野慕情	志賀大介	一四六
東京暮色	瑠美子	一四七
春の日	篠原順子	一四八
法善寺横丁	柴田恒男	一四九
相聞歌	芝山和子	一五〇
虹の橋	小五郎	一五一
驟雨	志摩馨子	一五二
陶工一代	島田邦博	一五三
恋の白雪	下地亞記子	一五四
コスマス揺れて	下野登美子	一五五
遠花火	白河時夫	一五六
ほろにがい人生	新保治平	一五七
北都恋町夢の町	野政義代	一五九
てんのじ村	鈴木紀代	一五六

これが人生、これも人生	一	木 昭一	一六〇
瀬戸の看護婦さん	一	木 信也	一六一
故郷思えば浮ぶ色	一	木 孝	一六三
犀川桜橋	一	木 信子	一六三
すずかけの道	一	木 信子	一六三
夫婦ものがたり	一	木 夜詩夫	一六五
乱	一	木 れい子	一六六
夢・鼓動	一	須 田 茂樹	一七零
さすらい花ごよみ	一	須 田 茂樹	一七零
童子女の松原	一	関 口 義明	一六六
あの夏の日	一	曾 我 幸義	一七〇
砂の城	一	妹 尾 恵美子	一七〇
風花挽歌	一	曾 我 幸義	一七一
すがり酒	一	曾 我 幸義	一七一
えくぼソング	一	たか正美	一七三
神の秋	一	たか正美	一七三
富士川の宿	一	高 塚 和 美	一七五
当世ばやき女	一	高 城 俊男	一七四
二百海里	一	高 野 礼 子	一七六
北情歌	一	高 橋 一仁	一七七
男の世界	一	高 橋 一仁	一七七
和紙に生きる	一	高 橋 テツ子	一七八
北海あばれ節	一	高 橋 ゆきを	一八〇
負けたらアカんで	一	高 畑 和 之	一八一
北山しぐれ	一	多 岐 川 まさし	一八三

再会		滝田常晴	一八五
かなしみ模様		たきのえいじ	一八六
海岸美術館		たくわん	一八七
二人の旅路		武井征雄	一八八
母子心情		立川加根依	一八九
宿雪		田中砂千雄	一九〇
悲しいけれど		田中衆兵	一九一
花衣		たなかゆきを	一九二
夜叉神峠		たにはら伸	一九三
番屋の岬		田村和男	一九四
雪崩		千葉幸雄	一九五
ジーンズに涙をつめて		司明生	一九六
番屋の花		塚谷清一	一九七
悲恋	酒	伸一	一九八
浪花づぼら		対馬慎一郎	一九九
おけさ螢		慎一郎	一九九
人生しるべ		多恵子	二〇〇
冬の花		田有紀	二〇一
木蓮の花		土川正敬	二〇二
雪晒し		土屋	二〇三
飲み師		照沼寛	二〇四
飲み晒し		つるぎまさる	二〇三
恋のおしゃれ雨		戸田寛	二〇四
夕顔の雨		鳥羽貞子	二〇六
有馬・片妻抄		富久子	二〇五
いとしのカルメン		恭介	二〇七
出会い	川	しま子	二〇九
中程	中西	寛	二〇八

秒針を止めて	中村 美智子	二〇
春遠からじ	中村 要子	二一
情念	川 中村 よしかず	二二
無情	川 中山 中山 邦雄	二三
男の勝負	旅 中山 大三郎	二四
かすみ草	草 中山 中山 正好	二五
恋火傷	火 中山 秋太郎	二六
「陰膳」に寄せる挽歌	成瀬 左千夫	二七
ふるさと酒	酒 仁井谷 俊也	二八
追想	母 贊 貢田 昭五	二九
湖の国	國 清 沼川 昭五	三〇
鬼平しぐれ笠	笠 沼川 淳	三一
おんな迷い道	道 根岸 利仁	三二
人生川	川 根岸 利仁	三三
見えない君と	と 根岸 利仁	三四
風の詩	詩 のたきひであき	三四
恋待月	月 野村 耕三	三五
わかるでしようか	ハギワラ 照生	三六
港おんな酒	酒 はしお あきら	三七
まわり道	道 はなよき ひろし	三八
恋夢情	夢 羽澤 文子	三九
別れ宿(情話)	宿 浜 晃一	三一
夫婦鏡	鏡 岡 三郎	三二
みだれ舟	舟 林 紀一	三三

京恋もよう	恋の雪宿	小春	未練海峡	時間	女	一念	還暦同窓会	北信濃ゆられ旅	春見	気になる噂	どん底酒場	紺	今はアデュー	愛の思い出	夕日の渚	あるさとを捨てるなよ	ネオン花	白血摩哀歌	わすれ傘	男の漁火	恋の枯葉	傭きは
林	川	原	原	原	高井	平井	平ノ川	福沢	吹越	雅道	恒	雅道	西	西	西	西	藤岡	藤根	舟根	古江	八恵子	愛
ら	ら	ら	ら	日高	雅道	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	久夫	久夫	哲也	哲也	は	は
あきら	こうじ	三毛	文彦	智生	耀	健	政義	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	み	み	
三毛	三毛	三毛	三毛	三毛	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	五	五	

実		堀尾恭子	二六〇
みなとの暴れん坊		万城たかし	二六一
冬 情 火		牧野おさみ	二六二
恋 い ち ず		正木のりゆき	二六三
恋 夢 風	便	松井由利夫	二六四
恋 愛 染	化	松生静	二六五
十三の砂山	鼓	松尾和彦	二六六
さくらんぼ恋唄	華	松崎暎子	二六七
夢じやないのね	松	松田哲美	二六八
許 し て	平史紀	松本撰子	二六九
かくれんぼ	坂	真弓田幸一	二七〇
流 蟻	上 博 司	三浦弘幸	二七一
狐 の お 面	三	みおこうすけ	二七二
追 分 海 峡	浦	貴裕子	二七三
男 の 行 ク 道	幹	政人	二七四
股 旅	里	こうじ	二七五
SADEを聴く夜は	木	れいじ	二七六
一 葉 幻 影	水	甚太郎	二七七
宿 灯 り	野	喬	二七八
たまらん海峡	三 谷	仁 史	二八一
愛を抱きしめて	早 苗	史	二八二
八 方 破 れ	隆	二八三	二八四
風 花 の 宿			

さくら草の咲く頃	宮内	たけし	二八五
鷗 の 涙	三宅立美	二八六	縁・怨・円歌は酒演歌?
総 天 然 色	宮崎	てるみ	二八七
迷 い 橋	宮地洋子	二八八	明日へのバラード
落 葉 の 宿	宮原哲夫	二八九	おんなの木の葉舟
女 で す も の	村岡一也	二九一	両 親
おんなの木の葉舟	村上文恵	二九三	サフランの丘
兩 親	村上志賀子	二九二	哀 席
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	風にのせて
兩 親	村上志賀子	二九二	夢 の 柱
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	別れの手紙
兩 親	村上志賀子	二九二	酔つてなきや
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	はだか祭
兩 親	村上志賀子	二九二	夜 汽 車
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	こぼれ萩心中
兩 親	村上志賀子	二九二	男 花 道
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	母 恋 故郷
兩 親	村上志賀子	二九二	私 東京の迷い鳥
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	ここは栄町
兩 親	村上志賀子	二九二	恋路の果て
おんなの木の葉舟	村上志賀子	二九二	はるかなる黄河
山 添 花 秋	宮内	たけし	二八五
山 添 花 秋	三宅立美	二八六	総 天 然 色
山 添 花 秋	宮崎	てるみ	二八七
山 添 花 秋	宮地洋子	二八八	迷 い 橋
山 添 花 秋	宮原哲夫	二八九	落 葉 の 宿
山 添 花 秋	村岡一也	二九一	女 で す も の
山 添 花 秋	村上文恵	二九三	おんなの木の葉舟
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	両 親
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	サフランの丘
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	哀 席
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	風にのせて
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	夢 の 柱
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	別れの手紙
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	酔つてなきや
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	はだか祭
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	夜 汽 車
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	こぼれ萩心中
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	男 花 道
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	母 恋 故郷
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	私 東京の迷い鳥
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	ここは栄町
山 添 花 秋	村上志賀子	二九二	恋路の果て
山 添 花 秋	二九二	はるかなる黄河	さくら草の咲く頃

未	練	山	田	孝	雄	三〇
あなた	のい	ない	街			
シオン	の花			やま	だ	りゅう
冬	牡	丹		山	本	惠三子
山	峽	の女		山	元	ひろし
く	やし	んば		吉	川	満
妻		よ		吉	田	純治
シベリア	鉄道			吉	田	博司
見	返	り橋		吉	田	よし子
う	ぐ	いす		吉	本	歌世
生まれた	星	せい	ですか	若	林	圭子
磯		笛		若	松	かつ子
海峡	し	ぐれ		若	松	秀美
生命	生	かして		渡	辺	和於
な	さ	け	舟	渡	辺	蛍雪
古利根川	灯籠	流	し	渡	よ	し枝

題字 石本美由起
表紙画 星野哲郎